

緑爽会会報 No. 197

2025年4月24日発行
日本山岳会 緑爽会
発行人 荒井正人



デザイン・制作 関塚貞亨

〜〜 《報告》 〜

《講演会報告》

名山の国際化・今昔物語 ～日本の山に登る外国人登山家の現在・過去・未来 講師：マーティン・フッド (Martin Hood) さん

開催日：3月29日(土) 14時～16時 会場：ルーム104号室

参加者：32名(緑爽会18名 その他14名) (講演の詳細内容は別冊としています)

緑爽会創立30周年記念事業の第一弾に相応しい講演会が予定通り開催された。石塚会員がフッドさんとメール交流されてきたおかげで実現した講演会である。講師のマーティン・フッドさんには、事前の打合せにもお越しいただき、スイスから福井に滞在中とはいえ、今回は奥様と早朝福井を発ってこられたわけで、フッドさんには、本当に感謝している。

テーマにある「日本の山に登る外国人登山家」と聞くと、ウェストンを思い浮かべる。しかし、訪日観光客が増えて山に登る方も多いと聞くと、明治以降現在に至るまでどんな登山家が、どのような登山をしてきたのかという点になると、正直あまり知識が無く、その面では、どんな話になるのかと、興味深々であった。

講演ではパワーポイントを使って多くの画像を映しながら、ユーモアを交えて話された。知らなかった登山家がガイドブックを



書いているなど、初めて知ったことも多い。詳細は別冊をお読みいただきたい。講演後に、出席されていた大森久雄

さんから、「ぜひ『山岳』に掲載して欲しい」とのお話もあり、有意義な講演会となった。最後に橋本会長に感想を語っていただいた中で、緑爽会には大変関心を持っていると明かされたことも記しておきたい。

(報告：荒井正人、写真：石塚嘉一)

目次

ページ

- 《報告》
- 1. 名山の国際化・今昔物語
～日本の山に登る外国人登山家の現在・過去・未来
講師マーティン・フッドさん
- 2. 2025年度緑爽会総会報告
- 《寄稿・投稿》
- 6. 最高地点・三角点へのこだわり《3》 大唐松山
南川 金一
- 7. 越後駒ヶ岳の気象観測の記録
吉田 理一
- 《予告など》
- 8. 5月山行
年会費納入の依頼
会員異動・編集後記

別冊：「マーティン・フッドさん講演会詳細」

2025 年度緑爽会総会報告

日時：4月17日（木）総 会 13時半～14時半 出席 22名
近況報告 14時半～16時10分 出席 23名（後掲写真参照）

会場：ルーム 104 号

2025 年度緑爽会総会は小林副代表の開会挨拶で始まり、荒井代表が下記の 4 つの議案について説明を行った後、いずれも承認された。

第 1 号議案 2024 年度 事業報告承認の件

第 2 号議案 2024 年度 収支決算承認の件

第 3 号議案 2025 年度 事業計画（案）承認の件

第 4 号議案 2025 年度 予算（案）承認の件

今年度は創立 30 周年であることから、事業計画（案）では山行など例年行っている事業の説明のほか、資料『30 周年記念事業とその考え方について』を配付して、①記念祝賀会の開催、②「記念会報」「緑爽会のあゆみ」「緑爽会会報総目次」の発行、③30 周年記念講演会の開催——について逐一説明した。

出席された会員からは 30 周年記念事業を中心にさまざまな意見をいただいた。

祝賀会の運営について、小清水会員から「飲食をするだけではなく、講演など有益な時間を過ごせればよいが」との要望が出された。代表は「時間があるので、考えたい」と応じた。小清水会員は『山』に祝賀会のことを載せるならばやはり講演があったほうがよい」と続けた。西谷可江会員がそれを受けて「創設当時の話を近藤緑さんや松本さんなどから聞きたい」との要望が出された。また、小部会員から『あゆみ』を冊子で配付するだけでなく、創立から今に至る経緯をスライドなどで紹介していただけるとよい」との要望もあり、それらに対して「ヒントをいただいた。検討したい」と応えた。辻橋会員から「緑爽会は退会したが、動ける人に祝賀会出席の声をかけることはしないのか」の質問には「該当者がいれば考える」と回答した。また、郵送した返信ハガキをめぐりながら代表から、高辻会員、吉田会員、高橋会員から総会には出席できないが 9 月の祝賀会には参加したいとの意向が紹介された。



（後列左から）小部正治、大島洋子、南川金一、横関邦子、辻橋明子、平野紀子、鳥橋祥子、川口章子、西谷可江、西谷隆亘、竹中彰、小林敏博、富澤克禮、小清水敏昌、岡義雄、石塚嘉一
（前列左から）小原茂延、近藤緑、島田稔、荒井正人、渡部温子、山本良子、松本恒廣

南川会員から「総会の案内を見て 30 周年記念事業について随分考えてくれたなと受け止めた。昔を偲ぶのは構わないが、同好会なので原点を探るなどということまですることはしないのではないか。これで十分だと思う」との意見をいただく。また、富澤会員からも「これだけやるのも大変だと思う。十分だ」とコメントされた。代表からは「人、もの、カネをつぎ込むことはしないと思うが、これを機に会の歴史をまとめておこうかなと思っています」と応じた。

島田会員から「地方の会員が出席しやすい方策がないものか」との意見に代表は「祝賀会は首都圏中心でやらざるを得ないが、3 人の会員がいる新潟県をはじめ北海道・秋田県・山形県などにも会員がおられるので、こちらからそのエリアを訪ねる山旅なども企画したいと考えている。あるいは晩餐会前後に何か企画すれば東京へ来やすいのではないか」との考えを示した。

総会終了後、夏原会員の講演を予定していたが、都合により欠席されたため、出席者のみなさんから、一人一人近況を報告していただいた。（報告：小林敏博、写真：石塚嘉一）

近況報告（返信ハガキ及びメールでいただいた方の分を会員番号順にまとめました）

田村佐喜子 年度始の 4 月は何かと忙しく、16 日は趣味の会、18 日は住んでいる町の総会、19 日は信濃支部総会と続きます。誠に申し訳ありませんが欠席とさせていただきますと思います。

五十嶋一晃 会社に勤めていた時の仲間に「卒寿の前祝い」をやってもらい皆さんには今までの拙著を配布したところ、突然私に「あやかりたい」と握手を求められ、驚きとともに変な気持ちになりました。現在、富山の歴史民俗研究会の依頼により、薬師岳信仰にかかわる論考をまとめております。

岡 義雄 緑爽会に入会して丁度 1 年が経ちました。想像していた通り、この会のメンバーはいろいろな分野での知識、経験が豊富な方ばかりで、後ろ姿から何かを学び取ろうと心掛けていますが、カルチャーショックを受け続けています。既に迫り来ている加齢と闘いながら、ちょっと背伸びすれば届きそうな目標を掲げ、先輩方が謳歌していらっしゃる老春を目指して努力したいと思います。

松本 恒廣 1981（昭和 56）年、自然保護委員会委員となり、89（平成元）年、関塚さんの後任として担当理事、95（平成 7）年緑爽会結成と同時に入会、本年 30 年目を迎えた。最近では杖が手放せなくなりました。歳はとりたくないものです。

福田 光子 会務御苦勞様です。今年、私の住む秋田市は冬らしい雪でしたが、大した被害もなく、高齢の私でも自分で除雪出来る範囲で助かりました。大船渡の山火事のはげしさに心が痛みました。

近藤 裕 朝のウォーキング途中、路上に転倒し、頭を打って血だらけになり、救急車で病院に運ばれ、7 針も縫われました。当分は遠出禁止と言われていただきますので、残念かつ申しわけありませんが総会は欠席とさせていただきます。（この 5 月に満 95 歳となり、7 月には日本山岳会入会して満 50 年となります。）

近藤 緑 私の住む杉並区は通所リハビリや入浴サービス等の老人施設に恵まれていて助かります。昨秋、曾孫が生まれたのを機に墓を作りましたが、たった一人、先に入るのは淋しかろうと、骨箱はまだわが家の本箱の上で、亭主面をしています。曾孫が歩けるようになったら富士山麓の墓参りついでに登山もしたいです。それ迄頑張らなくては。

吉田 理一 昨年 8 月耳下腺ガンが見つかり 8 時間に及ぶ摘出手術、33 回の放射線治療を経て 10 月末 3 ヶ月の入院生活を終え退院。現在定期的な CT 検査を受けながら経過観察中。体調が元に

戻るのに1年かかるとの診断、シーズン券で八海山麓スキー場に通りゲレンデスキーの滑りは取り戻した。9月の30周年祝賀会は這ってでも出席します。

川嶋新太郎 自宅近くの上野公園にリハビリを兼ね歩いています。桜の緑が目立ってきました。“春ですね”。私は94歳、体の変化に同調、それなりに生活しております。

高辻 謙輔 所用のため欠席します。30周年記念祝賀会はできれば出席したいと考えております。

南川 金一 このところ80代以降の物故会員が多いと感じるのは、いよいよ自分の番が近くなってきたからか。会報に載った訃報からだけでは詳しくは分からないので、知っている名前を見た場合には、年齢・紹介者・近年の様子（分からない場合が多い）を事務局に尋ねて、私なりに故人を偲んでいる。一期一会ならずとも、山岳会での縁は不思議なものだと、つくづく思う。

平野 紀子 10数年振りの大雪の年でした。尾瀬沼もまだビッシリです。いつも皆様にお世話になるばかりで感謝です。スマホも持たず、“紙”人間ですので、申し訳ありません。

高橋 清輝 当日は諸々の事情（事前の約束事）がありまして欠席させていただきます。秋の創立30周年は出席出来ますようにと願っております。会の岳兄、岳友に宜しくお伝えください。

大島 洋子 山はすっかり遠くなりました。天気良ければ散歩です。下北沢の下北線路街にアーモンドが6、7本あります。今年も綺麗に咲きました。

島田 稔 最近とみに体力が減退。気力はあっても、周りに種々の迷惑をかけることが多くなったのが気掛かりです。1994年国見利夫、渋谷千秋両氏の紹介でJAC入会、併せて国見氏の会に入会して現在になりました。4月16日設立の東京支部に入会して、残り僅かなJAC生活を楽しまたいと思っております。

小清水敏昌 近くの小学校で入学式があり、ちょうど校庭の桜が咲いていて両親とピカピカの新小学生と桜が、絵になる光景でした。思わず、遠い昔の情景を想い浮かべました。小生のことで体調がやや良好になったようで、行事にはなるべく参加したいと思っております。

長沢 洋 去年の秋、緑爽会の皆さんと、中村好至恵さんの安曇野での展覧会に行く旅ができたのは、行事に加わることがなかなかできない身にはうれしい出来事でした。同時期、中村さんのもうひとつの展覧会が開かれた小川村の春が素晴らしいことを聞いて、4月中旬中村さんに案内を頼んで数人で訪れました。これが聞きしに勝る、桜と後立山の大絶景でした。来年には緑爽会も有志を募って出かけてみたらどうでしょう。ドライバーを引き受けますよ。

辻橋 明子 近年登りのペースが超ビスターリになりました。皆様の足を引っぱってしまうようで、なかなか一緒にの機会がありません。

山川 陽一 昨年5月、9月、2回の腰の手術の回復が長引いて諸会合参加できず残念です。7月に計画されているさがみこベリーガーデン訪問には皆さんと一緒出来るようがんばります。
（追伸）田邊壽さんのご逝去は残念です。思えば60有余年、長い間お世話になりました。謹んでご冥福お祈りします。

樋口みな子 緑爽会、30周年おめでとうございます。もう私も厳しい山には登れません。緑爽会は楽しい企画が満載ですね。いつか交流会に参加したいです。北海道の春は一気に野の花が咲きます。カタクリが咲く5月が好きです。その時は是非お伝えしたいです。少しお待ちくださいね。

岡田 陽子 5、6日で美濃の岐阜城と郡上八幡城&根尾谷淡墨桜に。日本三大桜は三春滝桜/福島、山高神代桜/山梨、根尾谷淡墨桜/岐阜、ですが、根尾谷の淡墨桜をやっと訪れることができ

ました。豪華絢爛な桜を愛でながら春を満喫していたら、次の2つを加えたものが、日本五大桜（石戸蒲桜/埼玉、下馬桜/静岡・富士宮市）なのだと教えてもらい…、来年の春も忙しくなりそうです。

- 夏原 寿一 体力の低下を少しでも抑えようと家の周りを歩いていましたが、スピードを出して走ってくる電動アシスト自転車が怖くて、最近は近所にある目黒区立グラウンドのウォーキングコースを回っています。コースは体育館やテニスコート、野球場、草地などの間を縫うように一周450mでゴムチップ舗装です。100m毎にポールがあるので、100mは小股で走り、あとの350mは歩いています。ハツカネズミが籠の中の車でくるくる回っているみたいです。
- 瀬戸 英隆 右足から左足にうつり足全てダメで歩くことがかなり大変。よってすべての会合欠席します。誠に、誠に残念。最後、せめて高尾山に行きたいと思い歩く事を重たく考えています。
- 川口 章子 4月11日から15日まで、日本山岳会アルピニズムクラブ創立5周年記念行事で訪韓します。北漢山に登れるといいのですが・・・。
- 渡邊 貞信 膵臓がんの手術を受け、1ヶ月入院しましたが、無事に終わって、今は体力回復に努めています。しばらくは会の活動に参加できませんがよろしく願いいたします。
- 西谷 隆亘 平素は、大変お世話になりまして有難うございます。緑爽会の行事に時々参加して
可江 至福の時を過ごせます幸せを有難く思います。事務局の皆様の多大なるご尽力の賜物と、感謝申し上げます。私共、老々介護生活7年目。二人で歩けますうちは、できるだけ行事に参加したいと思います。ご迷惑をおかけいたしますが、どうぞ宜しくお願い申し上げます。
- 中村好至恵 事務局の皆さま、お世話様でございます。昨秋は会員の皆さまに安曇野山岳美術館での展示をご高覧頂き、ありがとうございました。今年は展覧会準備で行けなかった昨年分も取り戻そうと、山行を一つでも多くしたいと思っています。総会時もちょうど山の仲間休暇に合わせての四国 剣山から三嶺への縦走と重なってしまい、出席できません。その分、いい作品が描けるよう頑張ってきます。
- 松川 征夫 外出と言ったら「病院通い？」そのような生活です。主治医が4人と、ますます「老人力？」が身について参りました。エヘン！
- 荒井 正人 脊柱管狭窄症の再発で、右足が時に足の甲まで痺れて、典型的な症状「間欠跛行」状態です。思い起こせば13年前、その症状で「山に行けないなら文章でも書かか！」と『山の本』に投稿したことで中村さんや長沢さんを知り、JAC 入会へと繋がったのでした。当時と同じ痛みで、そんなことを思いだす今日この頃です。
- 小原 茂延 ここ3年、埼玉支部の同好会「彩の山研究会」で『山岳文化の伝承』を放談形式で愉しんでいます。その源泉は「緑爽会」であり、「資料・映像委員会」であり、また「日本山岳文化学会」によることが多く、それら諸会及び図書委員会、埼玉支部の「講演会」は得るところが多い一方で、誤った発信をしている山岳会幹部も見受けられるので、機会を捉えて口頭あるいは文書でお伝えしています。体調は芳しくなく近傍の自然を愛でています。
- 小部 正治 昨年入会してから、忘年会・講演会や山行（七福神めぐり含めて）を毎回楽しみに参加しています。七福神巡りでは迷子になりましたが、宝登山ではリーダーと離れずに素敵な？梅を楽しむことができました。要害山を一人で歩きましたが、バテバテでした。まだ、数名しか顔と名前が一致しません。

越後駒ヶ岳の気象観測の記録

吉田 理一

季刊誌「山の本」109号(2019年秋号)に緑爽会、荒井正人さんの連載「山もよう人もよう」が載っている。挿画には水彩画家中村好至恵さんの「駒の小屋」が添えられている。この絵には今は使われていない小屋前の鉄塔と最先端の風向計が描かれている。

新潟県小出町でTV放送が始まったのは1960(昭35)年である。TVの前、ラジオの時代からNHK新潟放送局では夕方のローカルニュースで谷川岳・白馬岳・越後駒ヶ岳の天気予報を放送していた。

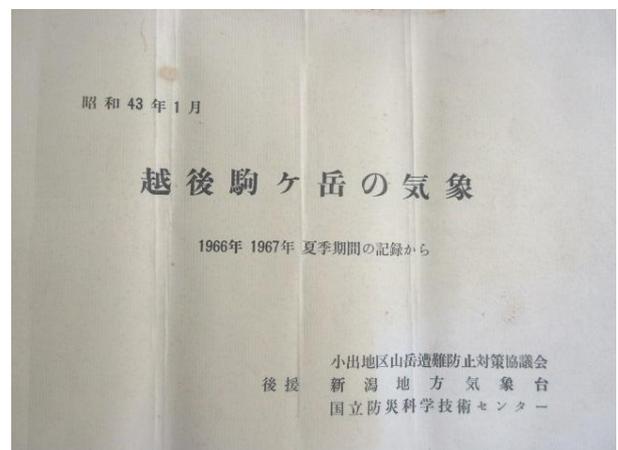
「越後駒ヶ岳の気象～1966・1967年夏季期間の記録」という貴重な資料のことを記しておきたい。ワープロなど未だ無い時代の和文タイプによる印刷で、製本はしっかりしているが残念ながらB4版全55ページ「わら半紙」使用のため変色している箇所も見受けられる。この記録を貴重なデータと認識して保管している機関や個人がどの位あるかは不明である。JAC会員は多士済々、緑爽会会報はJACのHPで公開されているのでその道に詳しい会員の目に留まる可能性もあると思い、記録に留めておきたい。



中村さんの挿絵「駒の小屋」

- ・発行年 1968(昭43)年1月
 - ・編集者 五十嵐高志(防災科学技術センター技官 日本山岳会越後支部 会員番号5361番)
 - ・発行者 小出地区山岳遭難防止対策協議会(会長 小出警察署長 北村正司)
 - ・後援 新潟地方気象台 国立防災科学技術センター(現長岡市 雪氷防災研究センター)
 - ・観測項目 天気・雲量・気温・最高最低温度・湿度・気圧・風向・風速・雨量
 - ・観測機械 風向計および風向自記計 1日巻、三杯型ロビンソン風速計および自記電接計数器
雨量計・雨量柵・貯水瓶・隔測自記雨量計 1日巻、自記気圧 中型7日巻、
自記温度計 大型1日巻、フース型乾湿計、ルサホード最高最低温度計、棒状温度計、
百葉箱、風力発電機
 - ・定時観測 6時・9時・12時・15時・18時
 - ・観測者 駒の小屋第四代管理人 星六松
 - ・情報伝達方法 駒の小屋(防災行政無線)→小出
郷消防本部(一般電話)→気象協会→マスコミ
- ※駒の小屋の気象観測
- 観測期間 昭和41年7月～平成10年8月31日
観測者 歴代の小屋管理人

わら半紙による記録では長期保存が難しいと思われるので、緑爽会会報を利用させていただき、電子データとして残しておきたいと思い立った。



～～《予告など》～～

5月山行 春の山野草を求めて大垂水峠から城山へ

この時季、春の盛りの中でさまざまな山野草が花を咲かせていると思います。大垂水峠から城山・日影乗鞍を経て(北東尾根を)日影バス停へ下ります。

実施日:5月12日(月)雨天中止

集 合:10時40分 大垂水バス停

※バスは八王子駅北口 9:57、あるいは高尾駅入口 10:17、あるいは高尾山口駅 10:24

(同一バスです。神奈川中央交通・相模湖駅行『八 07』)に乗っていただき、大垂水バス停着 10:36)

行 程:大垂水峠→小仏城山→日影乗鞍→日影バス停⇒高尾駅(歩程約3時間)

持ち物:昼食、飲料水、敷き物、雨具、ストックなど

参加申込:5月7日(水)までに小林あるいは石塚まで 電話かメールで。

小林

石塚



7月:「さがみこべリーガーデン訪問」については、7月14日(月)に予定しています。悪天候の場合は18日(金)と致します。追って詳細をお知らせいたします。

関塚貞亨さん、百歳、おめでとうございます

関塚会員は、この3月29日にめでたく百歳のお誕生日を迎えられました。今後もお元気で過ごされ、2年後に永年会員となられることを楽しみにしています！！

年会費納入のお願い

2025年度会費を、「振込み」でお願いいたします。出来ましたら6月末日までに以下の要領にて、
<年会費 1500円>を、お振込み願います。

- ・ゆうちょ銀行からの振込み 10000-18539041 「リョクソウカイ」
- ・他の金融機関からの振込み 008-1853904 「リョクソウカイ」

※他の金融機関からの場合「支店名」は「ゼロゼロハチ」と入力してください。

会員異動

宮本潤一郎会員(A0469)より、4月17日に緑爽会退会の申し出があり、受理いたしました。

堀井昌子会員(8852)は、4月21日にご親族より退会申し出があり、受理いたしました。

編集後記

総会が終わり、30周年記念誌作成など、これからやることが多いというのに、脊柱管狭窄症の再発で腰が痛くて仕方がない。でも物は考えようで、山に行けない分、机上の作業が捗ると強がっている。(荒井正人)
総会で議案がすべて承認され、今年度の最初の事業は5月山行です。4月に夏日を記録した東京ですが、春の山野草が色鮮やかに咲く時季となりました。ご一緒に春を楽しみましょう。(小林敏博)

総会で南川さんから、記念事業についてよく考えている、とお褒め(?)をいただいたが、気を緩めずに、どんな事業もよく考えてやらないと他の会と変わらなくなる。緑爽会らしいことというのは難しい。(石塚嘉一)
フッドさんの講演会、大変興味深く拝聴した。私にとってはフッドさんのMACのPCからJACのプロジェクトで投影できるか大問題だった。ITそしてAIとどんどん進歩し、世界が変わっているのを感じる。(横関邦子)

次号予告<6月25日発行の主な内容>皆様からの投稿をお待ちしています。

5月山行報告、南川さんの連載ほか